

生活クラブの良さを 知ってもらおう



拡大試食会

12生産者18人が参加。各テーブルをまわって話をしてくれました

道内の提携生産者組織である生活クラブ共生会と一緒に、拡大試食会を開催しました。シェフがすべての食材に消費材を使い調理したコース料理を味わいながら、生産者から市販品との違いやここでしか聞けない話などを聞きました。午前と午後の部合わせて、組合員32人と組合員ではない39の方が参加し、「安心、安全だけではない生活クラブの取り組みが素晴らしいと思った」「実際に試食や生産者の話を聞くことができ、より興味がわいた」などの感想も。当日、5人が加入しました。共感する仲間を増やすためには、会って伝えることが大切だと実感しました。

〈副理事長 石黒 真理 11/5 京王プラザホテル札幌〉



オニオングラタンスープや秋刀魚の巻繊焼きなど12品のコース料理には、調味料まで消費材が使われていました

INDEX

2024年度 上半期監査報告 3
消費材を語る機会を増やし全支部一丸となって利用結集を

支部活動紹介 4~5
会って、語ろう！生活クラブ（東/豊平/厚別/江別）

2024 シャボン玉フォーラム in ひょうご 6

2024年度 生活クラブ福祉基金 助成先団体紹介 7
花と緑のEGG（エッグ）/ NPO法人子育て応援かざぐるま /
化学物質過敏症・電磁波過敏症の生活を考える会

生活クラブ Wind



組織活動

北海道の提携生産者で組織されている生活クラブ共生会と共催で、拡大試食会を行いました。午前午後、二部制の試食会には組合員外39人の参加があり、生産者と共に生活クラブの取り組みや消費材について語り、加入をすすめました。

拡大試食会はコロナ禍を挟み2回目の開催でしたが、「生産者の想い、生活クラブとの安全な食材への取り組みを実感した」という参加者の感想が寄せられ、加入実績だけでなく企画自体の手応え、意義を改めて感じる事ができました。企画をさらにブラッシュアップして、次年度以降も開催していきたいと考えています。



消費委員会

榎平田牧場のモモスライスの「消費材Step Up点検」を、12月18日に行います。生産者と組合員が一緒に決めた基準（自主基準）に基づいて消費材がきちんとつくられているかどうかを点検します。事前に、自主基準登録の内容を確認する学習会を行い、『事前準備依頼書』を生産者へ送付、当日の回答を準備してもらいます。原料や区分管理はもちろん、使用する洗浄剤労働環境など、自主基準項目は多岐にわたります。



とても細かな自主基準に基づいてつくられる消費材です。私たちが利用することでこれからもつくり続けてもらえます。



石けん運動委員会



人工的な香料などが原因で不快感や健康被害が生じること「香害」といいます。柔軟剤や合成洗剤などに含まれるのは石油由来の合成香料（化学物質）で、頭痛やアレルギー症状を引き起こし化学物質過敏症を誘発する可能性があります。2000年頃から香料を添加した製品が始めブームになると同時に、体調不良を訴える人も増え始めました。香料を閉じ込めたカプセルがはじけると、発がん性物質のイソシアネートやマイクロプラスチックが環境に放出されます。プラスチックの破片は肺に、臭いは脳に届く、香料公害（香害）は環境汚染なのです。



原発ゼロ・市民エネルギー委員会

9月12日に組合員32人で寿都町を訪問しました。核のゴミの地層処分に反対する岡村聡さん（北海道教育大学名誉教授から寿都の地盤について学び、その危険性を考えました。地層の大部分を占める水冷破砕岩は、海底で噴出したマグマが急冷されてできた脆弱な石なので、ハンマーで叩くともろくて驚きました。地質条件を無視した地層処分の危険性を、あらためて知ることができました。

岡村先生は10月の日本火山学会で、寿都の磯谷溶岩が「第四紀火山」に該当する可能性を指摘しています。火山は地層処分の最大のリスクです。反対の意志を拡げていきましょう！

11月の理事会から

2024年度上半期監査報告書が監事会より提出され、承認しました。

11月5日に共生会と共催した拡大試食会の加入情報と、参加者の感想などを共有しました。

第十三次中期5年計画に基づき、一次産業における持続可能な生産と消費を実現するために、主要品目の予約制度構築に向けて行う討議資料とスケジュールを確認しました。

中央支部のまちづくり拠点の名称が、「まるーむ生活クラブ」に決まったと報告がありました。



2026年度以降の災害復興支援活動について、連合会の方性を確認しました。

消費材を語る機会を増やし

全支部一丸となって利用結集を

監事 山谷 滋美

生活クラブの監査とは

監査は専門家に任せず、組合員から委任された組合員監事が行っています。生活者の視点で事業と運動のバランスを考えて点検と評価をするよう心掛けています。監査には、総代会で決定された活動方針が計画に沿って執行されているかを見ていく「業務監査」と、組合員が出資・利用・運営という形で参加している共同購入の事業高や財産状況が正しく報告され、的確に活用されているかを見ていく「会計監査」があります。監事会の主な活動は、毎回の理事会への出席、各委員会への参加、各センター・関係施設の監査、現金・預金・帳簿の照合等で、10月に上半期の監査を行い、以下のような上半期監査報告を提出しました。

上半期監査報告

●会計監査

現金を実査したところ帳簿類と相違ないことを確認し、預貯金の管理も適正に行われていました。

●拡大・組織活動

拡大状況は、加入・純増共に大変厳しく、過去最低の加入達成率となっています。

主体的に拡大に関わる人が減少している中で、新しい委員が増えている支部もあり、少しずつではありますが明るい兆しも見受けられます。運営委員が少ないうえに、くらぶコミュニケーションメンバーや支部組合員に声をかけ、地域の施設を使った展示説明車あみーか拡大やイベント、ミニ展示説明会など支部独自の趣向を凝らした拡大を企画している支部もあり、多くの人に生活クラブを知ってもらう機会を作ることができているようです。生産者とのコラボ拡大はほとんどの支部が行い、組合員以外の参加も多くありました。残念ながら加入にはなかなかつながっていませんが、諦めることなく、ていねいな情報対応を行って加入につなげてください。

組合員が加入説明をする支



展示説明車 あみーか拡大（北支部）

部は少し増えているものの、まだ多くはないようです。加入説明をする人自身が生活クラブの理解を深め、新規組合員とその後の関係性を築きやすくするためにも、多くの組合員が関わっていくことを望みます。また新規組合員とのつながりを作り、脱退の抑止や利用の定着を図れる新規組合員フォローは極めて重要です。新規組合員歓迎会も支部によって開催時期はそれぞれですが、年度中には全支部で実施してください。

●共同購入活動について

供給高は値上げの影響で上がっているものの、利用点数は減少しています。昨年同様、組合員数のさらなる減少はもろいですが、依然として物価高による世間全体の消費の冷え込みが生活クラブにも影響を与え、買い控えにつながっているようです。消費材を選んで利用する意味や語る機会を増やすことを望みます。

牛乳の利用低迷に歯止めがかからず危機的状況であることから、月間利用本数3万本、利用率40%を目標に利用結集活動を

すすめました。もくMOREミルクアクションをはじめ6月の牛乳学習会で学んだことや、委員会で作成した牛乳のしおりなどを生かし、本部消費委員会を中心に全支部一丸となった利用結集を望みます。引き続き粘り強く働きかけ、わかつて飲み続ける組合員を増やす活動をすすめてください。

米は市場の米不足が加速し、米登録外の注文が殺到し、消費が計画以上にすすんでしまいました。新米が出て市場でも不足は解消されましたが、値上がりもあり、今後の動向が懸念されることです。今こそ生活クラブ米の優位性、そして米登録の意義を伝える良い機会と捉え、組合員に発信してください。



わくわくまつりで低温殺菌牛乳の優位性を伝える

厚別

(株) NS ニッセイとのコラボ拡大 魚一匹「まんま」も怖くない

11/2 生活クラブ本部

イベント告知をしてすぐに多くの申し込みがあり、組合員外4人を含む21人が参加。10歳の小学生や男性も来てくれました。はじめに、(株) NS ニッセイ営業部長の古田研二さんから「地球温暖化が進み、獲れる魚の種類や量が変わってきている」という話を聞きました。その後、鯖の三枚おろしを2回実演してもらい、各自が実践。この日は鯖の味噌煮・鯖フレーク・中骨を使った船場汁・にんじんラペを作り、支部が用意した麻婆茄子・



古田さんの手元を真剣に見る参加者。魚をさばくのは初めてという人も多く、復習のため動画を撮影する姿も

白飯・リンゴと一緒に生産者と試食しました。参加者からは「ひとり一尾をおろせて良かった」「骨まで無駄にせず調理できて大満足」「皆さんの話を聞いて生活クラブに興味があった」などの感想がありました。後日、組合員外の参加者には紹介キャンペーンで消費材を試してもらうこともでき、充実したイベントになりました。

(運営委員長 高下 洋子)



北海道・青森県沖の太平洋で漁獲された「真さば」。半解凍状態での調理がおすすめ

生活クラブ

支部では準備を重ね、趣向を凝らしたイベントをおこなっています。今回は4支部の活動を紹介します。ぜひ足を運んで、生活クラブを楽しんでみませんか。

江別

生産者とのコラボ拡大 オシキリ食品さんとお豆腐を作ってみませんか？

11/13 大麻公民館

生産者は、江別市に本社・工場があるオシキリ食品(株)。地域に無料配布される『まんまる新聞』に、広告だけでなく記事としても掲載されたため組合員外の申し込みが相次ぎました。オシキリ食品の遠藤一彦さん(右上写真)から、豆腐の原料である大豆を通して遺伝子組み換え食品の話などを聞いたあと、合成にがりと天然にがりの違いを知るための豆腐作りをしました。完成した豆腐と委員が用意した炊き込みごはん・みそ汁・豆腐ドーナツの試食タイムには、託児を依頼した子育て支援ワーカーズも加わり楽しい時間となりました。参加者からは「遺伝子組み換え食品のことなどいろいろ知ると怖くなるけれど、食材選びの参考にしたい」という感想がありました。コロナで人と会うイベントが少なくなりましたが、顔を合わせて会って話す大切さを改めて感じました。当日加入はありませんでしたが前向きに検討したい人がいて、手応えのあるイベントでした。

(運営委員 鈴木 恭子)



組合員10人と組合員外13人が参加



支部まつり ひがっちまつり in ハロウィンⅡ

10/26 伏古記念会館

支部の組合員同士が交流を深めるのはもちろん、来場者に生活クラブを知ってもらうため開催し、スタッフ 31 人を含め組合員・組合員外の 75 人が参加しました。

食品や石けんなどの消費材を販売し、カフェでは「ビーフカレーがレトルトなのに肉がしっかりしていて美味しい」と好評でした。また、りんご・みかん・トマト・フルーツキャロット・ゆずはちみつの 5 種類のジュースを飲み比べて、どのジュースが 1 番かを投票する“あなたの推しはどれ？”では、「箱売りなので買ったことがなかった。どれも美味しかったので注文してみたい」との声も。ほかに、組合員が所属している札幌中世古楽会によるステージ演奏や子育て支援ワーカーズ プチトマトの折り紙講座(左上写真)などたくさんのコーナーを設けて、子どもも大人もスタッフも楽しめる和やかなまつりになりました。

(運営委員 原田 佳)



子育て支援ワーカーズ ほっぺによる
あそびコーナー



昨年引き続き
2回目!

東支部キャラクター
ひがっち



推し NO. 1 は「ゆずはちみつ」

支部活動紹介

会って、語ろう!

豊平

子どもからシニア世代まで
地域みんなで集おう 豊マルシェ

11/9 月寒公民館



「豊平支部を元気に!」をスローガンに、運営委員会を中心に豊マルシェ実行委員会を立ち上げました。くらぼ、サークルで活動する組合員、地域連絡会、生産者等が協力して開催し、当日は親子連れからシニア世代まで組合員外 35 人を含め 185 人が来場しました。鶴田農園のりんごや京田食品(株)のパン、ワーカーズぽんこたんのお惣菜、くらぼやサークルが提供した抹茶やコーヒーが並び、訪れた人々を楽しませてくれました。

特に、クリスマス用品の利用結集としておこなった丸鶏のローストチキンの仕込みと解体、試食は大盛況で、長い行列ができるほどでした。普段はそれぞれで活動する組合員がつながり、和気あいあいとした雰囲気、活動の楽しさも存分に伝えられた賑やかなマルシェとなりました。

(運営委員 権平 まゆ)



知っとお?! せっけんで守れるもん あるんやで!

～ 安全で豊かな環境を、未来の子どもたちへ～

せっけんを入りに環境を考える「シャボン玉フォーラム」。今年は兵庫県神戸市で開催され、北海道からは6人が参加しました。1日目は全体会として基調講演と活動団体の個別報告、パネルディスカッション、2日目はフィールドワークを含む3つの分科会が行われました。全国の生協・農協・漁協・生産者が集まり、活動の共有と交流を深めたフォーラムの様子を報告します。〈主催 せっけん運動ネットワーク 9/28・29〉

day.1 全体会 基調講演報告

「水惑星^{かこう}の花崗岩のものがたり」と題して、京都大学の奥地拓生教授（右写真）が地球にしか存在しない花崗岩に着目し、大陸と水について話されました。水の惑星といわれる地球、その特徴は海・大地・動くプレートがあることです。大陸は、岩石の中でも地表に浮き上がることで軽いもので出来ています。その代表が花崗岩で、プレートの境界付近で作られるそうです。花崗岩は液体の水がなければ作られない含水鉱物であり、プレートの動き（地震）により地表に現れます。その花崗岩が地表でミネラル分を供給しています。水と花崗岩、どちらもめぐり地球上の命を育んでいる。壮大で、ロマンあふれる講演でした。

（石けん運動委員会担当理事 福井 美知代）



北海道は石けん利用伸長率優秀団体として表彰されました

day.2 分科会報告



「六甲山系くまもりツアー ～神戸の自然体験～」

六甲山地の中央に位置する摩耶山^{まや}で、2つの湧水と大杉を見学しました。「おいしい水」で知られる六甲山。そのヒミツは花崗岩の天然ろ過作用にあるそうです。さらに花崗岩のミネラルを利用して地衣類やコケ類が育ち、豊かな森へと成長しています。「存在するものが相互にバランスを取りながら循環している」くまもり協会の方の言葉です。手をつけられない自然林の姿を見ることができ、本当の豊かさとは何か、モノにあふれた便利すぎる生活を見直す良い機会になりました。子どもたちの未来のために、これからもよい^{ちい}せんたくをしていきたいと思ひます。（厚別支部 安藤 春美）

「見てほしい! 知ってほしい! 私たちがつくった平池水上太陽光発電所」

兵庫県小野市にある平池水上太陽光発電所を見学し、グリーンコープでんきの自然エネルギー発電所への取り組みを聞きました。自分たちでつくる自分たちの発電所として組合員が出資し、法律の壁を乗り越え、地域との関係を深めてできたソーラーパネルです。浮力のあるフロート架台にはパネルが敷き詰められ、水上での作業やメンテナンスには船で移動します。ため池に浮かんでいる太陽光発電は初めて見るものでした。池の上でも電気を作れること、熱い情熱と活発な組合員活動を楽しくアピールする姿を見て、私たちも頑張らなきゃと思いました。（恵庭支部 佐藤 静）

「今日の一步で未来がかわる ～森里海の繋がりを考察する～」

間伐材を利用した雑貨など、環境問題を見据えた製品を生産している(有)生活アートクラブの富士村夏樹さんが講師でした。日本は国土の66%が森林で、その土壌は水を貯える機能を持っています。微生物が作ったフルボ酸などの有機物が土壌のミネラルと結びつき、土となり、雨水はゆっくりと栄養分を携えて河川に流れ込み、海を育てます。間伐することで森を育て、山が荒れることを防ぎ、野生動物との棲み分けにもつながります。反面、人は作物を効率よく作るために除草剤等を使用して土を汚染し、環境や水資源に影響を及ぼしています。食の選択は人の体だけではなく、地球全体の環境をつくることになりました。（福井 美知代）

2024 年度
Vol.1

生活クラブ福祉基金 助成先団体紹介



団体名のEGGはEcological Gardening Groupの略です

へ、近隣中学校の特別支援学級の依頼により、園芸指導や、独居高齢者の見守りや草刈り、傾聴などを組み合わせた活動を行っています。助成金は、草刈り機など園芸用品の購入やチラシの作成費に充てました。このような地域に根差した活動を今後も続けていきます。

(聞き手／若野)

「生活クラブ福祉基金」は意志ある組合員の毎月100円の拠出で、生活クラブがすすめる福祉事業・活動に使われています。また、地域で福祉活動を広げている団体に助成しています。2024年度に助成した13団体の活動を、今月から4回にわたり紹介します。

ガーデンからひろがれ

花と緑のEGG(エッグ)

代表ノボランティアコーディネーター

堀 妃登美さん

2016年、園芸療法士が中心となり、清田区の「札幌国際大学イネーブルガーデン(可能性の庭)」を拠点に園芸ボランティア団体を立ち上げました。園芸作業を通じて、学生やボランティア会員と庭づくり、人づくり、そして街づくりへとつながる活動をめざしています。ガーデンが身近な癒しの場となるよう、一般市民対象の見学会や園芸講習会も大学と共におこなっています。育てた植物は高齢者サロンや認知症オレンジカフェで小物づくりなどの園芸療法プログラムに活用されます。「季節を楽しめる」「懐かしい植物に触れられる」など、参加者同士のコミュニケーションに役立っています。

また、行政から



また、行政から



道内の地域子育て支援拠点等へ進呈。全国から問い合わせがあります ※HPから購入可能

子育てに関わる人の抛りどころに

NPO法人子育て応援かざぐるま

代表 山田 智子さん

1986年の任意団体立ち上げから法人化を経て、38年間活動しています。活動の中心は、円山バスターミナル2階で運営している「子育て拠点てんてん」です。地域から転勤族が多く、生まれ育った町から離れた地で「アウェイ育児」や「ワンオペ育児」をしている人もたくさんいます。週5回開催している「てんてんひろば」は子ども同士が関わり合って遊び、親にとっても出会いと交流、情報が得られる場になっています。

助成金では「子育て応援ブック第3版」を発行しました。2019年に小児科医や発達心理学者の協力のもと第1版を、2021年にコロナ禍でも情報を得られる動画と連動した第2版を発行しました。第3版には、男性の育休取得率の増加やスマホなどメディア接触の低年齢化など、現在の子育て環境に合った内容を盛り込みました。利用者さんが描いてくれた抱き方などのイラストも好評です。今、乳幼児と触れ合う経験がないまま親になる人が増えています。ぜひ手に取ってもらい、子育ての一助になったら嬉しいです。

(聞き手／敦賀)

発信していくことの大切さ

化学物質過敏症・

電磁波過敏症の生活を考える会

代表 吉田 美香さん

代理人 石川さわ子さん(市民ネットワーク北海道)とともに香害ポスター作成など行政に対する活動をしてきた仲間と、2021年に会を発足しました。化学物質や電磁波など、身の回りの環境因子で体調を崩す「環境過敏症」の周知が主な目的です。助成金は周知・理解・促進を目的とした学習会の会場費などに充てました。



過敏症患者は柔軟剤の香りやスマホの電磁波などで頭痛やめまい、呼吸困難など様々な症状が起き、回復には数時間から数日かかります。一度発症するとすぐに効果の得られる治療法や薬がないため、誘引物質・環境因子を避けるしかありません。しかし、周囲に病気を伝えても「大変ね」のひと言で終わり、辛さを理解してもらえないことが多いというのが現状です。

アルコールの代謝に個人差があるように、環境因子の許容量にも個人差があり、今の世の中では誰もがなりうる病気です。過敏症患者は成金の力ナリアと一緒に、患者が安心して暮らせる環境は、すべての人が健康に暮らせる良いものです。これ以上発症者を増やさないためにも、周知活動を続けていきたいと思っています。

(聞き手／五十嵐)

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL 011(887)8891
発行日 2024年12月20日 編集 広報委員会 W・C・O・P・L・A・N・E・D・O

FAX 011(887)7226

こんまち 報告

地域から課題解決 札幌市に予算要望書を提出！

各支部では、ワーカーズや市民ネットと地域連絡会を定期的に行い、情報共有や地域の課題解決に向けて取り組んでいます。11月2日、「こんなまちに暮らしたい」札幌10区まとめの会を開催しました(右写真)。各地域連絡会が活動報告をしたあと意見交換を行い、代理人からは課題解決に向けたアドバイスがありました。



代理人 米倉みな子さん(右から3人目)

11月21日には、小学校での集団フッ化物洗口が任意であることやリスクについて周知を徹底する等、地域から出された課題を盛り込んだ258項目の予算要望を代理人とともに秋元市長に提出しました。

お悔やみ

生活クラブ北海道の米の生産者であるとんぼの会 2代目会長 寺崎啓一さんが11月7日に69歳でご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

小学生の居場所 放課後 room こちる スペシャル☆こちる



日時 12月15日(日) 13:00～16:00
場所 北広島市中央公民館 1階 (北広島市朝日町5-1-1)
内容 普段は、生活クラブ館・北広島で子育て支援ワーカーズ ほっとまむが受託運営している福祉基金事業「こちる」が、小学生向けの特別イベントを行います。松ぼっくりを使ったミニツリー&ステンドグラスづくり、工作、自由遊びコーナーなど盛りだくさん！



主催 生活クラブ生活協同組合

講演会

石けんと合成洗剤の今と香害問題

こうがい

日時 12月21日(土) 10:00～12:00
場所 かでる2・7 1060 会議室 (札幌市中央区北2西7)
内容 生活クラブが構成団体である「きれいな水と大地を守る合成洗剤追放北海道連絡会」が主催する集会です。エスケー石鹸(株)の小林衛さんから石けんの重要性や香害問題について聞きます。QRコードからお申し込みください。入場無料。



本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>



安心して頼れる人がいる有り難さ

東支部 松本 千秋

昨年の秋に生活クラブに加入して、組合員歴が丸1年になりました。初めて参加したイベントは「エッコロ・地域のたすけあいを考える」というテーマで、東支部地域連絡会が主催のものでした。夫もわたしも本州が地元。頼れる身内が夫以外いない中での子育てに心細さを感じていたため、地域のたすけあいというワードにとても心惹かれたのです。イベントでエッコロについて学びましたが、組合員同士でたすけあえるしくみがあるって、めっちゃステキ！と感じました。食べ物を買うだけの生協だと思っていましたが、エッコロの存在を知って、さらに生活クラブのことが好きになったのを覚えています。

今年は、ありがたいことにエッコロで託児の利用を数回させていただきました。たすけてほしい時に頼れる人がいる安心感は、組合員だからこそ得られる特別なもの。いつかはわたしも手を差し伸べる側になって、たすけあいの循環をまわしていきたいです。

組合員のエッセイを募集します。4000字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送ってください。



道産 道産間伐材を配合した紙を使用しています